

福島民報新聞掲載

2018年 2月11日・13日

前十時から午後三時。初日は音速ラインな雪上花火などで盛り上りのコンサート、歳の

「サイノカミ」に無病息災祈る



まつりのメインとして再現されたサイノカミ

三島町の雪と火のまつりは十日、町内の町民運動場で催された。

町の伝統行事で国指定重要無形民俗文化財「サイノカミ」を再現

し、無病息災などを祈った。実行委員会の主催。サイノカミは川井地区の高さ約二十メートルの巨

大な御神木と、澁谷地区独特の十文字の御神木など計五体が立てられた。午後六時に点火すると炎がゆっくりと天を直指した。サイノカミに合わせて花火が打ち上げられ、夜空を鮮やかに彩った。

川俣町の山木屋太鼓のステージをはじめ、桐(きり)げた飛ばし大会、雪上綱引き大会など多彩なイベントで盛り上がった。地元グルメなどを販売する露店も並び、にぎわいを見せた。

〔第二種郵便物認可〕

雪国文化に親しむ

三島町民運動場で十日に催された「雪と火のまつり」では、雪国の伝統文化に親しむ多彩なイベントが繰り広げられ、大勢の家族連れらが楽しんだ。



勇壮な演奏を披露する山木屋太鼓



会場を練り歩く鳥追行列の子どもたち

三島「雪と火のまつり」 太鼓演奏や行列

川俣町の山木屋太鼓のメンバーがステージに立ち、勇壮な演奏で会場に熱気を吹き込んだ。地元の子どもたちは鳥追行列を練り広げ、昔から伝わる歌を歌いながら練り歩き、今年の豊作を願った。サイノカミの御神木五体に火がともると花火が打ち上げられ、夜空を彩った。

桐(きり)げた飛ばし大会や雪上綱引き大会、お笑いコンビ「ぺんぎんナツ」のステージ



冬の夜空に輝いた打ち上げ花火



アンコウ鍋を受け取る来場者

ージなども来場者を楽しませた。会場には地元の店舗や団体による模擬店が並び、会津地鶏や手打ちそばなどが人気を集めた。三島町と交流のあるいわき市四倉町の道の駅よつぐら港はアンコウ鍋を振る舞い、来場者が冷えた体を温めていた。